

環境経営レポート

～2019年度版～



対象期間 : 2019年7月～2020年6月

発行日 : 2020年8月31日



株式会社 新和電工



認証番号 0011072

代表者ごあいさつ

水、空気、エネルギー、食料…私達は、地球環境の中で様々な自然の恩恵を受けています。

そんな中、私達人間は、欲求を満たすために自然に対して過度な負荷をかけてしまっていることも事実です。

すべての事象を文明発達前の様に即座に戻すことは大変困難なことです。皆が意識して持続可能な将来に向かうことは可能です。

今期からSDGsへの貢献を強く意識して事業を推進致します。

私達、新和電工は、電気というエネルギーを適切に設備することによって、地球環境や社会全体に貢献していきます。

そしてお客様、協力会社様、社員一同やその家族が幸福を感じることが出来る様、精一杯努力していく所存です。



代表取締役 長島 義博

目 次

代表者ごあいさつ・目次	1
1. 企業理念・経営理念	2
2. 経営ビジョン	3
3. 事業概要	4
4. S D G s への貢献	6
5. 会社概要	7
6. 環境経営方針	9
7. 環境経営システム体制と役割	10
8. 環境経営目標・計画及びその実績	11
9. 今期の主な環境取組の内容紹介	19
10. 今期環境活動における法令遵守状況	20
11. 代表者による全体評価と見直し結果	21
12. 写真で見る新和電工	22

1. 企業理念・経営理念

企業理念

私たち新和電工は、仕事を通じ個人の創意と努力で自己を高め、その中から優しさや勇気といった、人間としての本当の価値観を確立していく、そんな「人財」を育て社会に貢献していきます。

経営理念

1. 企業の基本的使命

お客様や時代・社会から求められる、最適な設備を提供し、社会に必要とされる会社でありつづけます。

2. 会社の将来像や目指す方向性

我々は、高い専門性を持ち、実績を積重ねることによって、お客様から信頼され続ける企業を目指します。

3. 社員全員に対する基本的な考え方

我々は、安定した生活を保証し、仕事に大きな意義や誇りを持つことによって、社員一人一人が豊かな生活を送れるよう努力します。

4. 市場に向けた会社の優位性

お客様のご要望を、直接お聞きし、理解して、的確かつ迅速に対応する会社を目指します。

2. 経営ビジョン

- 1 長期目標として、完工高50億、社員数100名を目指す。但し、直近3年間の中期目標としては、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み目標を設定する。
- 2 お客様満足度、社員満足度を高めるために継続的に努力する。
- 3 当社の発展は、社員の能力向上そのものと考え、技術力、教養、人間力の向上を重点的に目指す。
- 4 当社の事業については引き続き、直需のお客様主体に展開していくこと、直需に近い事業パートナーとなり得る企業と協力していく。
- 5 SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みを進める。

Tips SDGsとは？



SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略で日本語では【持続可能な開発目標】と呼ばれます。2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す世界目標です。株式会社新和電工は、このSDGsを推進しています。

3. 事業概要

当社は、製造工場をはじめ多くの施設・設備において新築、リニューアル、メンテナンスのプランニング、御提案、施工を行っています。

製造工場の電気設備工事



オフィスビル電気設備工事



店舗・文化施設電気設備工事



公共施設電気設備工事



保守・メンテナンス工事



リニューアル工事



環境エネルギー設備工事



その他工事



株式会社 新和電工

営業部

業務部

工務部

管理部門

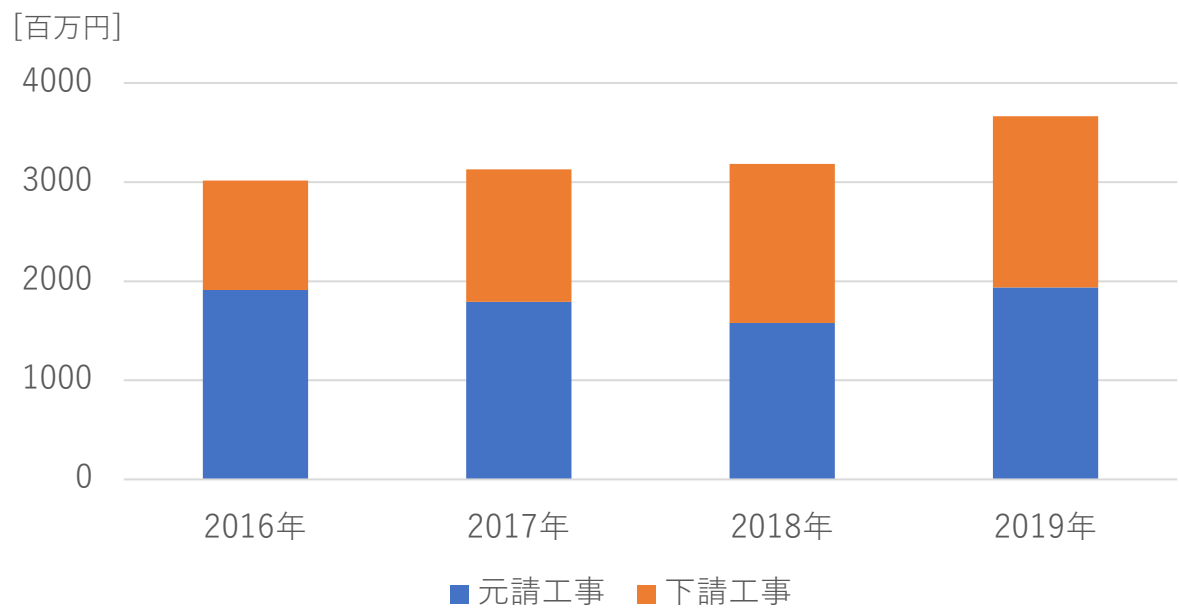
埼玉営業所

横浜営業所

3. 事業概要

過去4年間の元請・下請工事割合の実績

製造工場のお客様向けの工事を始め、官庁・民間共に常にお客様に寄り添い施工を行って参りました。



直近の主な請負工事実績

完成年月	工事名称
2019年10月	江東区夢の島競技場電気設備改修工事
2019年12月	潮見一丁目外街路灯改修工事
2020年 1月	江東区立辰巳中学校校舎その他電気設備改修工事
2020年 2月	平成30年度大井埠頭給電ケーブル新替工事



4. S D G s への貢献

当社は、事業活動を通じてS D G s（持続可能な開発目標）の目標達成に貢献しています。

当社事業活動によるS D G s 目標への貢献

S D G s 17の目標		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
当社の 事業活動		貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	クリーンなエネルギーをみんなに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任・つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
経営・事業	①市場・顧客ニーズ調査								○	○								
	②新規顧客の開拓								○	○								
	③受注高拡大への取組								○	○								
	④継続的顧客訪問								○									○
	⑤環境経営の積極推進				○			○					○	○				
	⑥働き方改革の推進					○			○	○			○					
	⑦業務改革の継続								○				○					
製品・施工	①積極的提案型営業							○	○	○		○						
	②新技術による設計・施工							○	○	○								
	③環境配慮製品・設備活用							○				○		○				
	④省エネ・省資源施工							○						○				
	⑤安全・衛生配慮施工			○									○					
	⑥協力会社との連携強化								○	○								○
職場・従業員	①働きやすい職場環境整備			○					○									
	②多様な人材の雇用			○		○					○							
	③従業員の研修・教育				○						○							
	④従業員の健康管理			○					○									
	⑤女性が働く職種の拡張					○												
	⑥外国人雇用の取組み										○							○
地域社会	①積極的広報活動												○					○
	②地域社会との交流											○						○
	③ステークホルダーとの対話												○					○
S D G s 関連数		0	0	4	2	3	0	5	10	8	3	3	6	3	0	0	0	6

5. 会社概要

- 事業者名及び 株式会社 新和電工
代表者名 代表取締役社長 長島 義博
- 本社所在地 〒136-0072 東京都江東区大島1-9-8
- 会社設立及び 設立年月日 1962年10月1日
資本金 資本金 4,200万円
- 事業内容 電気設備工事及び建築関連工事
- 事業所及び認証・登録範囲

事業所名	所在地	事業内容	認証登録対象該当否
本社	東京都江東区大島1-9-8	オフィス活動 見積設計業務	該当
埼玉営業所	埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎町25-7		該当
横浜営業所	神奈川県横浜市中区南仲通3-30-2		該当

■ 環境管理責任者連絡先

環境管理責任者 所属 総務部 役職 部長 氏名 後藤 圭一
環境担当者 所属 業務部 役職 主任 氏名 工藤 友弘
連絡先 住所 〒136-0072 東京都江東区大島1-9-8
T E L 03-5628-2111 F A X 03-5628-2132
E-Mail gotoh@shinwa-dk.co.jp

■ 事業の規模

項 目	2016年	2017年	2018年	2019年
売 上 高 (百万円)	3,016	3,129	3,184	3,666
従 業 員 数 (人)	86	89	84	87
床 面 積 (㎡)	1,049.40	1,049.40	1,049.40	1,618.40

■ 事業の為の主な許可取得状況

許可の内容	許可番号	許可年月日 有効年月日	許可事業の範囲
建設業の許可	国土交通大臣許可 (特-29)第136号	2017年9月13日 2022年9月12日	電気/建築/土木/左官/管/石/板金/ タイル・レンガ・ブロック/舗装/ 防水/塗装/熱絶縁/とび・土工/大工/ 鋼構造物/屋根/しゅんせつ/鉄筋/ 水道施設/ガラス/内装仕上/建具
	国土交通大臣許可 (般-29)第136号		消防施設/電気通信
登録電気工事業者届出	東京通称産業局長 届出 第48007号	1973年9月13日 -	一般用電気工作物 自家用電気工作物

5. 会社概要

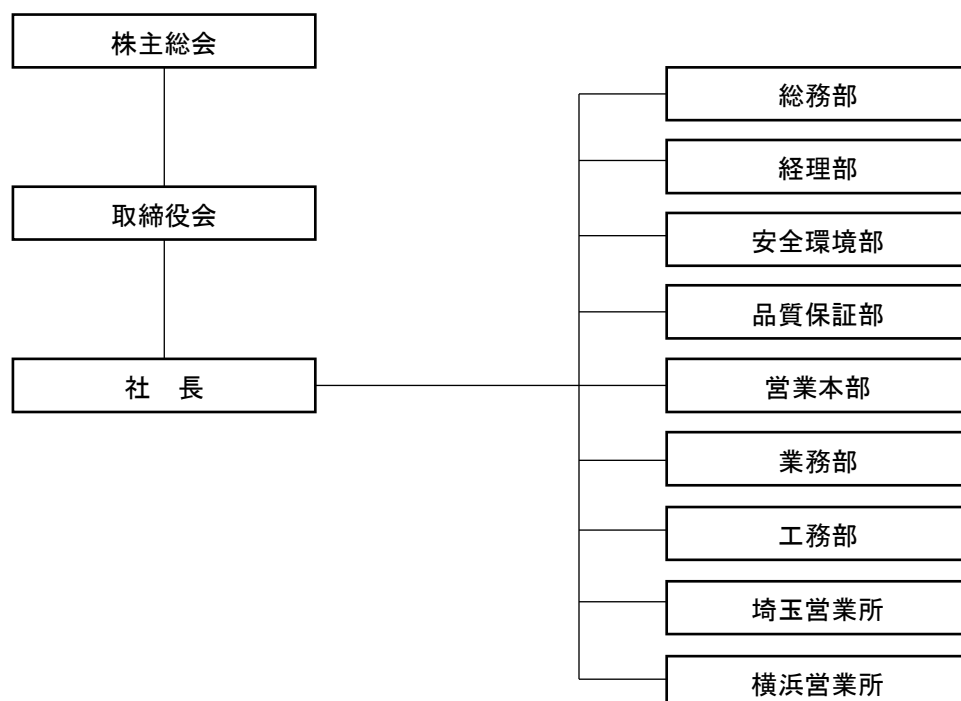
■ 技術者数

1 級電気工事施工管理技士	3 3 名	第一種電気工事士	3 9 名
1 級建築施工管理技士	2 名	第二種電気工事士	2 4 名
1 級土木施工管理技士	1 名	消防設備士(甲種第 4 類)	1 6 名
1 級管工事施工管理技士	1 名	第一種電気主任技術者	1 名
2 級電気工事施工管理技士	9 名	1 級建設業経理事務士	1 名
2 級管工事施工管理技士	1 名	2 級建設業経理事務士	3 名
2 級建築士	1 名		

■ 沿革

年 月 日	経 歴
1958年 4月	新和電工創業
1962年10月	株式会社 新和電工を設立
1999年 4月	本社所在地を江東区大島一丁目に移転
2012年 7月	長島 義博が代表取締役役に就任
2016年 2月	エコアクション21認証取得

■ 会社組織



6. 環境経営方針

【 環境経営の指針 】

株式会社 新和電工は、理念に基づき、事業経営における環境への取組の重要性を強く認識し、当社の電気設備工事に適合した環境経営システムを構築し運用することにより、環境に配慮した事業活動並びに製品サービスの提供に取り組み、企業力向上を図るとともに環境保全に寄与することを宣言します。取組にあたっては、環境関連法規等遵守し、次の基本的方向に基づき全従業員参画により、環境活動を実践するとともに環境経営の継続的改善を図ることを宣誓します。

【環境経営取組の重点分野】

1. 二酸化炭素排出量の抑制

- ① 事業所内における節電に取り組みます。
- ② 現場事務所における節電に取り組みます。
- ③ エコドライブを意識し、車両の節燃に努めます。

2. 廃棄物排出量の抑制

- ① 事業所から発生する一般廃棄物の削減に取り組みます。
- ② 建設工事に関わる産業廃棄物発生の抑制及び適正処理に努めます。
- ③ 資源の有効利用とリサイクルを推進します。

3. 水使用量の削減

- ① トイレ、手洗い、キッチン利用時の節水に努めます。
- ② 建設工事に関わる水使用量の抑制に努めます。

4. 化学物質使用量の削減(管理)

- ① 化学物質を使用する場合は、適切に使用量管理を行います。

5. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

- ① お客様への省エネ、環境配慮型製品の情報提供と導入提案を促進します。
- ② 環境配慮型工事の受注拡大に努めます。

この環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定：2015年4月1日

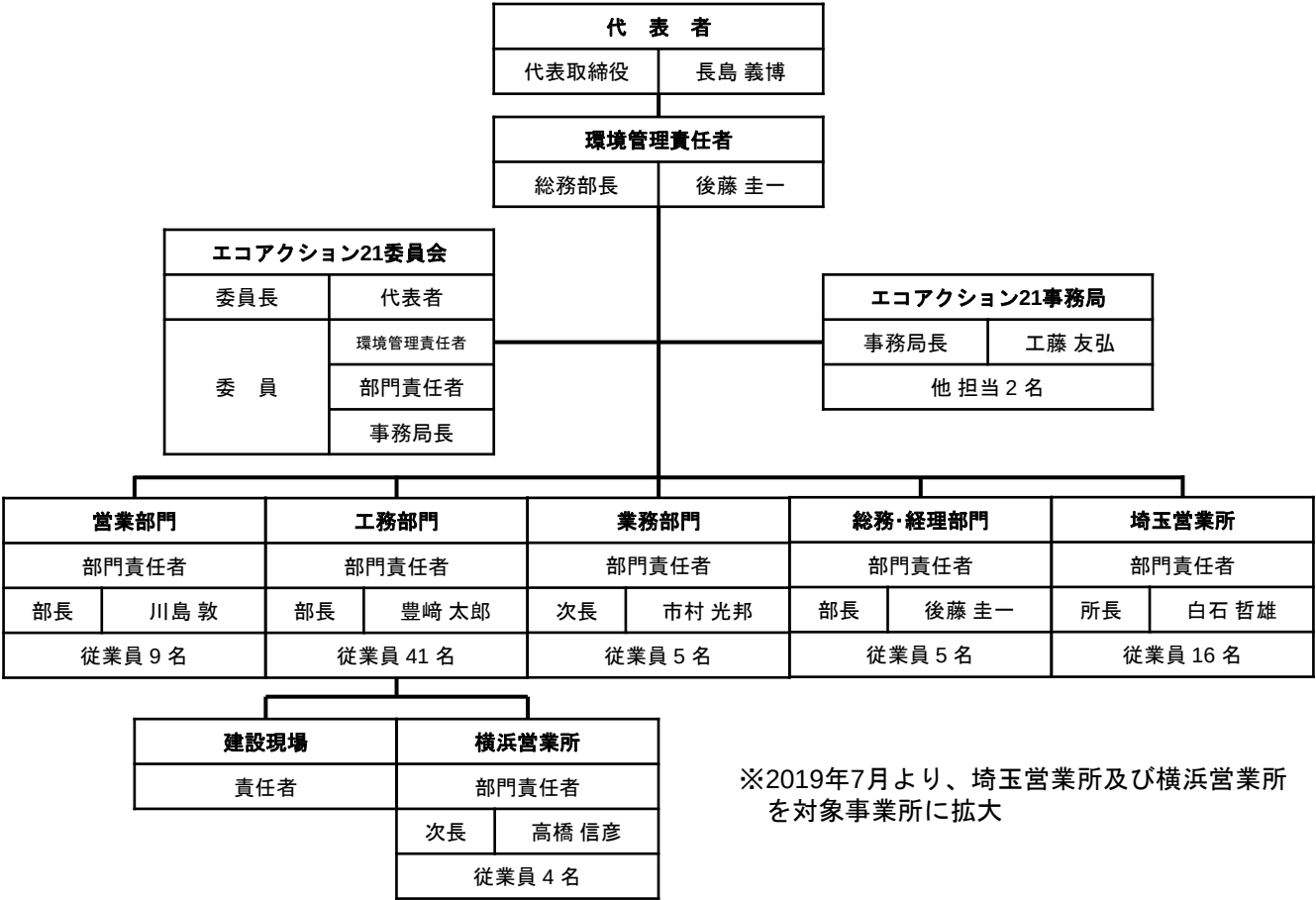
改訂：2019年7月1日

 株式会社 新和電工

代表取締役 長島 義博

7. 環境経営システム体制と役割

I 実施体制図



II 役割、責任及び権限

対象者	役割、責任・権限
代表者	・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する。 ・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定める。 ・環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)の用意をする。 ・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・会社組織へのEA21活動実施の統括 ・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 ・内外環境コミュニケーションへの対応 ・問題点の是正処置の統括
EA21委員会	・環境経営方針等決定事項の社内伝達 ・EA21活動に関する協議、意見交換
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐 ・EA21活動に関する事務
部門責任者	・環境経営計画、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 ・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ ・問題点の是正処置、予防処置の実施
工務部責任者	・工事施工にあたっての環境配慮の徹底 ・工事における節電、節水及び適正な廃棄物処理
従業員	・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・EA21活動に関する提案

8. 環境経営目標・計画及びその実績

I 環境目標と目標値・実績値

環境目標項目				基準年	年度目標			2019年度の実績	
				2018年度実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2019/7～2020/6	目標達成
原単位指標 売上高			百万円	3,184	—	—	—	3,666	—
1 二酸化炭素排出量の削減	(1)電気使用量の削減		kwh	95,314	94,361	93,408	92,455	87,780	○
	排出係数 0.474		Kg-CO ²	45,179	44,727	44,275	43,823	41,608	
	(3)化石燃料使用量の削減	ガソリン	L	66,417	65,753	65,089	64,424	72,559	×
		2.32	kg-CO ²	154,087	152,547	151,006	149,465	168,338	
		軽油	L	3,053	3,022	2,992	2,961	2,924	○
		2.58	kg-CO ²	7,877	7,798	7,719	7,640	7,544	
		都市ガス	Nm ³	13,539	13,404	13,268	13,133	13,360	○
		2.16	kg-CO ²	29,244	28,952	28,659	28,367	28,858	
	二酸化炭素排出量計		Kg-CO ²	236,387	—	—	—	246,346	—
	原単位二酸化炭素排出量 (CO ² 排出量合計/売上高)		Kg-CO ²	74.2	73.5	72.8	72.0	67.2	○
	(4)車両平均燃費の向上	ガソリン	km/L	11.30	11.41	11.52	11.63	10.38	×
		軽油	km/L	5.05	5.10	5.15	5.20	6.17	○
2 廃棄物排出量の削減	廃一般物	廃棄排出量	t	2.79	2.76	2.73	2.71	2.48	○
		資源リサイクル	t	0.17	数量把握	数量把握	数量把握	0.14	—
	廃産業物	廃棄排出量	t	85.15	数量把握	数量把握	数量把握	98.35	—
		資源リサイクル	t	109.03	数量把握	数量把握	数量把握	67.62	—
	廃棄物資源リサイクルの割合		%	55.4	55.4	55.4	55.4	40.2	×
3 水使用量の削減	水使用量		m ³	480	475	475	475	478	×
4 化学物質の管理	使用量の把握		kg	—	使用量把握	使用量把握	使用量把握	0	—
5 自らが提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	環境配慮型工事の売上高		百万円	—	現状把握	目標設定	目標設定	2,382	—
	環境配慮型工事件数の割合		%	36.5	37.5	38.5	39.5	38.5	○

全社合計の実績値とする。

実績達成状況は次の通りとする。

○ → 目標達成(100%～) × → 目標未達成(～99%)

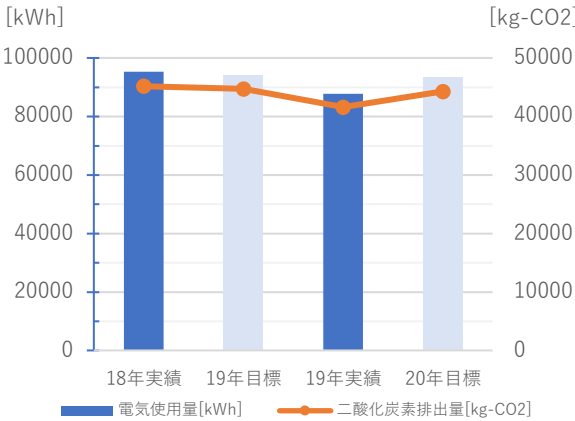
8. 環境経営目標・計画及びその実績

Ⅱ 各項目の具体的取組内容と取組結果

① 電気使用量の削減

年度		2018年度	2019年度
目標値[kWh]		-	94,361
実績値	電気使用量[kWh]	95,314	87,780
	二酸化炭素排出量[kg-CO2]	45,179	41,608
達成率		-	109.8%

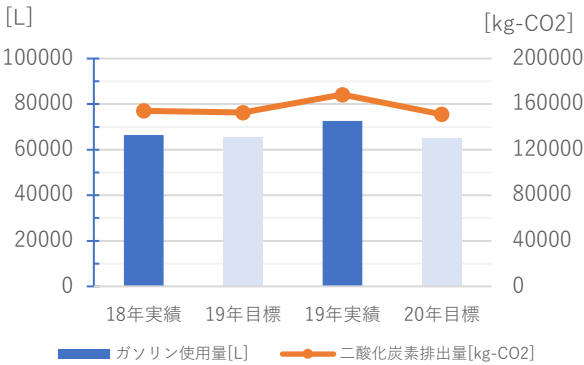
注記
二酸化炭素排出量算出に使用した購入電力CO2排出係数は、東京電力2016年度調整後排出係数としている。



環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価		次年度の取組内容
① 照明の適正管理	継続して実施	○	本社・横浜ﾄｲﾚ照明自動点滅化を検討
② 空調の適正管理	温度センサー位置変更完了	○	温度管理の徹底
③ 休憩時の消灯	継続して実施	○	不在エリアの消灯も徹底
④ 退社時のパソコン電源OFF	さらなる周知徹底要	△	部門毎の徹底強化

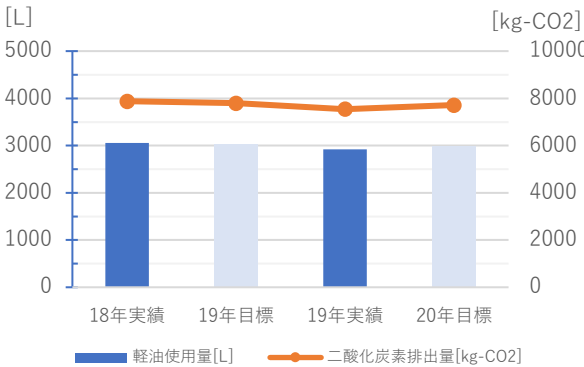
②ーⅠ ガソリン使用量の削減

年度		2018年度	2019年度
目標値[L]		-	65,753
実績値	給油量[L]	66,417	72,559
	二酸化炭素排出量[kg-CO2]	154,087	168,338
達成率		-	90.6%



②ーⅡ 軽油使用量の削減

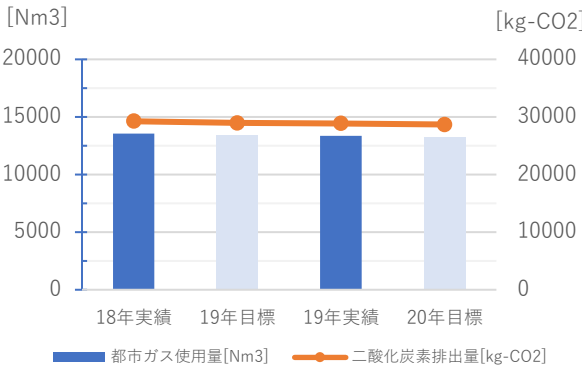
年度		2018年度	2019年度
目標値[L]		-	3,022
実績値	給油量[L]	3,053	2,924
	二酸化炭素排出量[kg-CO2]	7,877	7,544
達成率		-	103.4%



8. 環境経営目標・計画及びその実績

②－Ⅲ 都市ガス使用量の削減

年度		2018年度	2019年度
目標値[Nm3]		-	13,404
実績値	使用量[Nm3]	13,539	13,360
	二酸化炭素排出量[kg-CO2]	29,244	28,858
達成率		-	100.3%

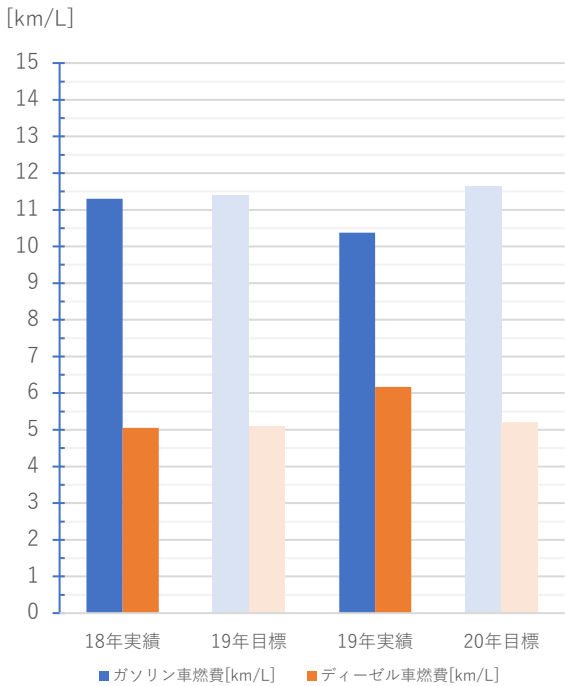


②－Ⅳ 化石燃料使用量削減の総括

環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価		次年度の取組内容
① 急発進・急減速の抑制	更なる周知徹底要	△	四半期毎に燃費チェックを実施
② 車内空調の適正使用	更なる周知徹底要	△	季節・体調に考慮した使用を周知
③ アイドリングストップの励行	更なる周知徹底要	△	季節・体調に考慮した使用を周知
④ 公共交通機関の利用	コロナ対策により対象外	－	コロナ終息まで対象外とする
⑤ 空調温度の適正管理	継続して実施	○	クールビズ・ウォームビズの励行
⑥ 不在時空調の電源OFF	継続して実施	○	執務エリア拡大の為にさらに注視する
⑦ 退社時の空調電源OFFの励行	継続して実施	○	執務エリア拡大の為にさらに注視する

③ 車両の燃費向上

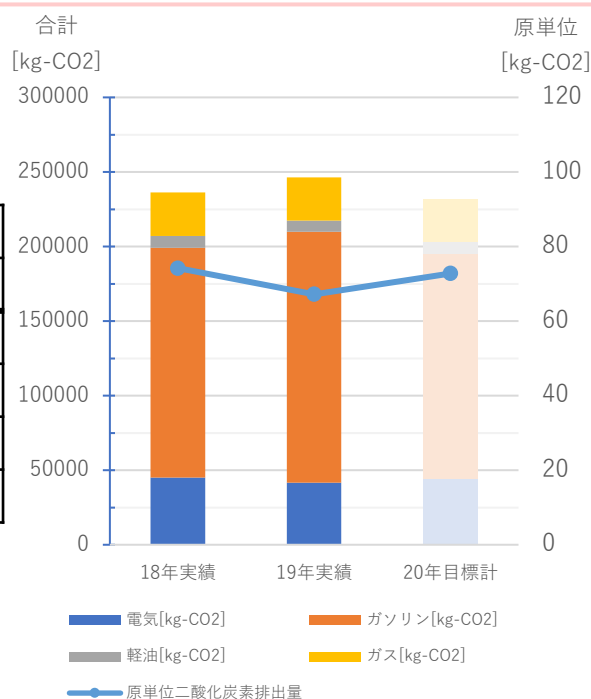
年度		2018年度	2019年度
ガソリン	目標値[km/L]	-	11.41
	実績値[km/L]	11.30	10.38
	達成率	-	91.0%
軽油	目標値[km/L]	-	5.10
	実績値[km/L]	5.05	6.17
	達成率	-	121.0%



8. 環境経営目標・計画及びその実績

④ 二酸化炭素排出量の総括

年度	2018年度	2019年度
合計二酸化炭素排出量[kg-CO2]	236,387	246,346
原単位(売上高)[百万円]	3,184	3,666
原単位目標値[kg-CO2]	-	73.5
原単位CO2排出量[kg-CO2]	74.2	67.2
達成率	-	109.4%



二酸化炭素排出量削減に関する総括

二酸化炭素排出量については、今期からは原単位による総括を行ったが、全体的な二酸化炭素排出量が増加しているものの、売上高あたりの排出量については昨年より減っており、少しずつでは有るが全体に意識付けが出来ていると感じている。

項目別としては、昨年未達成であった電気使用量が目標値を大きく下回り目標を達成、一方でガソリン使用量は燃費が向上する傾向にある高速道路の走行頻度が全体的に減ったこともあり目標未達成であった。

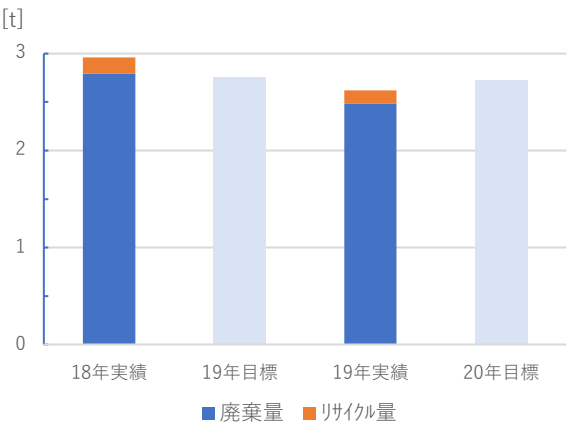
新型コロナウイルスが猛威を奮っている中、感染拡大防止の為今期は空気清浄機の導入・24時間運転、通勤中における感染防止の一環として車通勤の励行、また換気の徹底も行っており空調の運転にも影響する。これにより終息までは二酸化炭素排出量は増加傾向となることが見込まれる。

新型コロナウイルス感染防止を行いつつ二酸化炭素排出量を減らす事は非常に難しい問題となるが、終息まではこれらを加味した目標値の設定を行い、可能な限り二酸化炭素排出削減を行っていきたい。

8. 環境経営目標・計画及びその実績

⑤－Ⅰ 一般廃棄物の削減

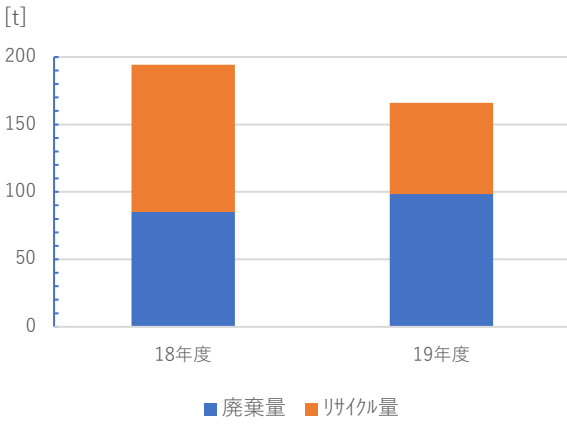
年度		2018年度	2019年度
廃棄排出量目標値[t]		-	2.76
実績値	廃棄排出量[t]	2.79	2.48
	資源リサイクル量[t]	0.17	0.14
達成率		-	111.3%



環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価		次年度の取組内容
① 裏紙の活用促進	内容の確立が必要	×	両面印刷の促進
② ゴミの分別徹底	継続して実施	○	継続して実施
③ ペーパーレスの促進	取組内容の策定要	×	取組内容の策定
④ コピー・印刷ミスの低減	継続して実施	○	継続して実施

⑤－Ⅱ 産業廃棄物の削減

年度		2018年度	2019年度
実績値	廃棄排出量[t]	85.15	98.35
	資源リサイクル量[t]	109.03	67.62

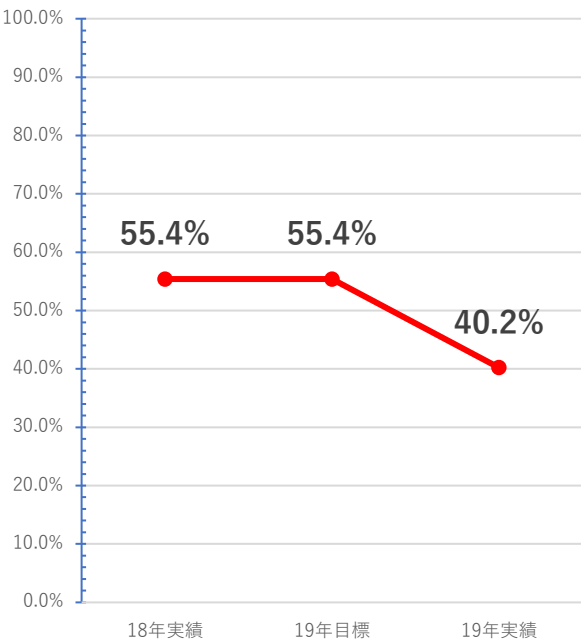


環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価		次年度の取組内容
① 分別の徹底	継続して実施	○	工事内容と廃棄物の関係性を分析
② リサイクルの促進	継続して実施	○	工事内容と廃棄物の関係性を分析

8. 環境経営目標・計画及びその実績

⑤ーⅢ 廃棄物のリサイクル率向上

年度		2018年度	2019年度
リサイクル率目標値[%]		-	52.4
実績値	廃棄物総排出量[t]	208.93	168.59
	資源リサイクル量[t]	109.47	67.76
	リサイクル率[%]	52.4	40.2
達成率		-	76.7%



産業廃棄物削減に関する総括

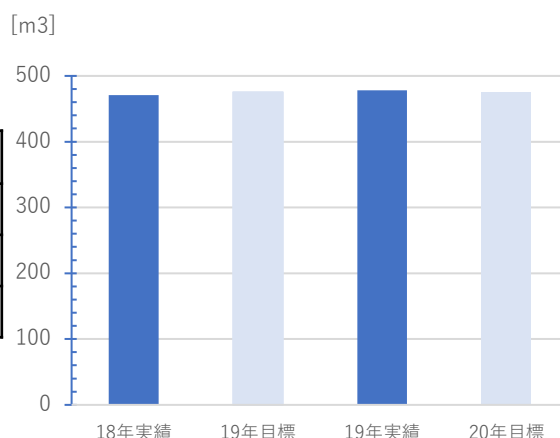
一般廃棄物は機密情報観点でのシュレッダー使用が多く、またこれを「廃棄」していることからリサイクル率が伸びない結果となったと考察する。これを融解処理することで資源リサイクルに回すことが出来るので、今後は融解処理を行うよう手配したい。

産業廃棄物は排出量そのものは減っており、またその中で大型常駐現場を中心に引き続き品目毎での排出を行っているが、現場の特性によりがれき類の排出が多く、全体的なりサイクル率については昨年比で下がる結果となった。産業廃棄物については工事内容と排出物・排出量の分析を行い、傾向を掴んでいきたい。

8. 環境経営目標・計画及びその実績

⑥ 水使用量の削減

年度	2018年度	2019年度
目標値[m3]	-	475
実績値[m3]	480	478
達成率	-	99.4%



環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価	次年度の取組内容
① 節水の徹底	更なる周知徹底要 △	フロア別にデータ公開を実施

水使用量の削減に関する総括

当社における水使用は生活用水のみであるが、今期から追加となった埼玉営業所では、事業所内の他にも併設している寮室の水使用量も加算される。また新型コロナウイルス感染対策として手洗い・うがいを励行している為、使用量の増加が今後見込まれる。これらの要因を加味した基準値に変更し、引き続き節水を行っていききたい。

⑦ 化学物質使用量の削減

2020年6月迄の1年間で化学物質の使用は有りませんでした。

環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価	
① 化学物質の使用量把握	指定化学物質未使用 ○	継続して実施

化学物質使用量の削減に関する総括

当社において普段、化学物質の使用や管理は行っていないが、PRTR法を始めとした各種関連法規等の熟知と物質の把握を行っていききたい。

8. 環境経営目標・計画及びその実績

⑨ 自らが提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

年度		2019年度
環境配慮工事比率目標値[%]		37.5
実績値	総受注件数[件]	1677
	環境配慮工事件数[件]	645
	環境配慮工事比率[%]	38.5
	環境配慮工事売上高[百万円]	2,382
達成率		102.7%

環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価		次年度の取組内容
① 環境配慮工事の提案促進	継続して実施	○	継続して実施

自らが提供する製品の向上及びサービスの改善に関する総括

今回、環境配慮型工事の対象となる工事は昨年同様にLED化工事・トップランナー機器の導入更新工事・エコケーブルを使用した工事となるが、件数ベースの集計方法を今回変更した影響で工事件数・環境配慮型工事比率は昨年より減少している。今後は売上高ベースでの集計が出来るよう当面は実績値の収集を行っていきたい。



9. 今期の主な取り組みの紹介

新型コロナウイルスが流行している中、当社では感染対策とエコアクションを両立し、可能な限り環境負荷削減に取り組んでいます。今回はその内容をご紹介します。

I テレビ会議システムの導入



1つの部屋での密を避ける為、本社一埼玉営業所間でテレビ会議システムを導入しました。これにより会議における感染対策となる他、本社への移動に必要なガソリンの節減効果にも繋がり、環境にも配慮したシステムとなります。

II 空気清浄機の導入



通常の換気その他、各執務エリアに空気清浄機を導入しました。この空気清浄機は薬品ではなく、紫外線ランプを使用しウイルスを除去する仕組みで薬品管理等の必要がなく設置ができます。

10. 今期環境活動における法令遵守状況

I 環境関連法規等の遵守状況

当社事業及び製品に関する主な環境関連法規等は下記の通りであり、今年度確認の結果、問題は有りませんでした。

遵守状況確認日 2020年 6月30日

法律名	要求事項	当社が遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物処理法	①廃棄物排出抑制・適正処理 ②保管基準の遵守 ③処理委託業者との二者契約 ④マニフェストの適正管理	①建築副産物の再利用 ②産廃保管場所の特定と表示 ③収集運搬・処分業者との契約締結 ④マニフェスト交付、回収、保管	適正遵守
資源リサイクル法	①資源有効利用基本(3R) ②家電リサイクル法 ③自動車リサイクル法 ④建設リサイクル法	①資源3Rの推進 ②家電リサイクル法の遵守 ③自動車リサイクル法の遵守 ④建設リサイクル法の遵守	適正遵守
省エネ法	○エネルギー使用の合理化	○省エネルギーの推進	適正遵守
騒音規制法	①特定建設作業実施届 ②騒音規制値の遵守	①届出対象作業無し ②工事施工時の施工低減	適正遵守

II 外部からの違反、訴訟等の有無

当社は、環境機関からの違反の指摘、指導及び利害関係者からの訴訟等は、これまで有りませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者は、今年度におけるエコアクション21運用全体について下記の通り、評価と見直しを行いました。

項 目	内 容		
1.見直し実施日	2020年7月17日(金)		
2.出席者	代表取締役、環境管理責任者、部門責任者		
3.報告した情報	① 環境目標達成状況 ② 環境活動計画の実施及び運用結果 ③ 環境関連法規等の遵守状況 ④ 外部からの苦情、要望等		
4.代表者の評価	今年度の目標に対しては、努力は続けているものの、満足できる結果ではなかった。コロナ禍や現場の特性による影響も大きいので、これらを考慮した目標の設定を行う必要がある。SDGsを啓蒙する入口としてもEA21活動を推進すること。		
5.見直しの結果	見直し項目	変更の有無	変更の内容
	①環境方針	有 ・ 無	
	②環境目標・環境経営計画	有 ・ 無	各項目に対して考慮する
	③実施体制	有 ・ 無	
	④その他	有 ・ 無	

12. 写真で見る新和電工

I ステークホルダーとのコミュニケーション

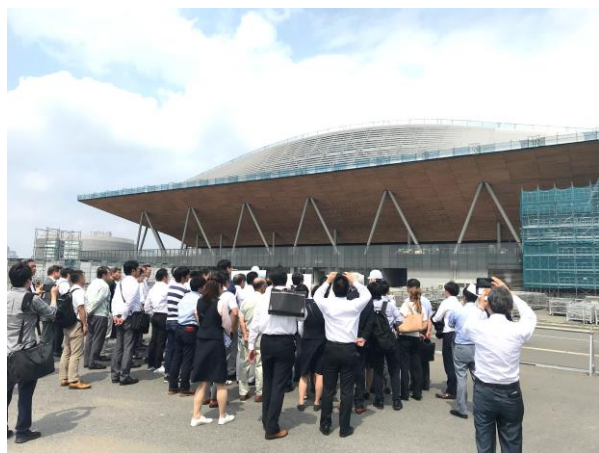
地域社会との交流



江東区総合防災訓練参加の様子

当社は、江東区防災協力連合会の一員として、この防災訓練に毎年参加しています。

地域イベントへの参加



オリンピック会場見学会の様子

完成間近の地元のオリンピック施設を建設業関連の皆さんと見学しました。

従業員家族との交流



社員旅行

年に1回、国内外3ヶ所の好きな所1ヶ所にみんなで旅行に行く、大人気イベントです。

12. 写真で見る新和電工

Ⅱ 明るい職場と従業員



本社の職場風景

施工管理の仕事ではコミュニケーションが重要になってきます。社内でもたくさんコミュニケーションが取られています。

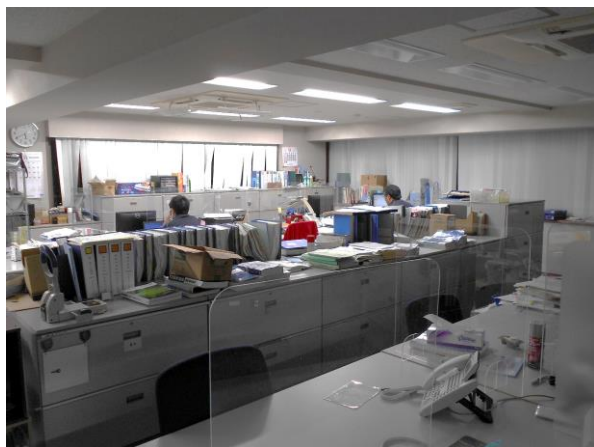
エコアクション21委員会

エコアクション21委員会では社内での打合せの他、外部からアドバイザーをお招きしよりよいEA21運営のためのコンサルティングを受けています。



職場での節電活動

特に現場社員は不在である時が多いので、不在のエリアは消灯する等、節電を心がけています。



産廃分別収集場所

産業廃棄物の適正な管理を行うために、収集場所の整理を行っています。写真は、ランプ類の収集場所です。



12. 写真で見る新和電工

Ⅲ 安全で働きやすい現場

現場での安全パトロール



現場での施工を安全に行っているか毎月担当社員持ち回りでパトロールを行っています。安全管理の徹底がされているか確認するだけでなく、様々な種類の現場を見て知識・技術を吸収する機会として開催されています。

安全大会の開催



年に1回、協力業者を交えて安全大会を開催しています。厚生労働省から通知される安全衛生スローガンをもとに、当社としてどのような取り組みを行っていくかを考え、共有していく場として開催されています。